

■開館時間と休館日のお知らせ

開館時間

Hours

★月～金曜日
8:30～22:00

★土曜日
8:30～20:00



- 1階総合レファレンスカウンター
月曜～金曜 9:00～17:00
- 2階レファレンスカウンター
月曜～金曜 12:30～17:00

休館日

Closed

★日曜・祝日

■図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	△6
×7	8	9	10	11	12	△13
×14	15	16	17	18	19	△20
×21	22	23	24	25	26	△27
×28	×29	×30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			×1	×2	×3	×4
×5	×6	7	8	9	10	△11
×12	13	14	15	16	17	△18
×19	20	21	22	23	24	△25
×26	27	28	29	30	31	

無印：8:30～22:00

△印：8:30～20:00

×印：休館

■利用に関するお知らせ

★春季長期貸出資料の返却日は
4月10日(水)

貸出延長は、蔵書検索(OPAC)のMyLibraryから
も行うことができます

4月からのレファレンスカウンター

3階レファレンスカウンターは新年度より、1階総合レファレンスカウンター、2階レファレンスカウンターに機能を集約します。

3階にある資料についての相談も1階、2階で受け付けます。お気軽にお声かけください。

年間1000ポイントまで無料 ～認証プリンタ～

学内の認証プリンタは、図書館、ICZ、中央棟1階CLEAS、東棟PC教室(授業中使用は対象外)の合計で、同一年度内1000ポイントまでは無料で使えます。(モノクロ1枚 1ポイント、カラー1枚 5ポイント)

なお、プリンタ端末の表記単位が2019年4月から「ポイント」に変更になりました。

1000ポイントを超えると有料となります。(1ポイント10円)

また、1回の出力枚数は、50枚までです。

資源保護の観点からも、両面印刷や外部メモリへの保存を活用するなどして、必要最小限の印刷を心掛けてください。



高校生図書館開放の利用状況報告

2018年度春休み高校生図書館開放(2月4日～3月30日)の利用者数は、3月15日現在で105名(昨年同時期は100名)の利用申請がありました。

次回高校生図書館開放(夏休み)は、8月1日～9月21日の予定です。



春学期図書館ガイダンス案内



図書館スタンプラリー

図書館を初めて利用する方に！

スタンプを集めながら、クイズに答えていくうちに図書館のことがわかるセルフツアーです。

図書館マップを手に取って、好きな時間に自由に回ってみましょう！全てのスタンプを押してクイズに答えたら、獨協オリジナルグッズがもらえます。

(※クイズに全問正解しなくても、もらえます。無くなり次第終了なので、お早目に)

★日時：4月1日(月)～5月31日(金)の

図書館が開いている時間中随時

★スタート地点：図書館各階入口(どこから始めてもOK)

★図書館マップ：館内で配布中

上映会「はじめてのレポートの書き方」

レポートを書くのが初めての方に！

大学生になると、レポートを書く機会が多くなります。

「レポートってなに??」という方は、必見！

レポートを書く手順をわかりやすく解説したDVDを上映します。

レポートを書く際に役立つ参考資料も配布します。

★日時：4月4日(木) 10:10～14:50

(35分×8回リピート上映)

4月8日(月)、9日(火)、10日(水)

15:30～16:05

★会場：図書館3階 図書館情報セミナールーム

(A-308)

上映DVD「新・図書館の達人 第6巻『レポート・論文作成法』」

(請求番号: DVD-010.7-S-6)

プロが教える！<3回シリーズ>

レポート・論文の書き方講座

レポートの書き方を詳しく知りたい方に！

“レポートの課題が出たけど書き方がよくわからない…” “論文の引用の仕方って?” などなど、レポート・論文を書くのに疑問や不安がある方は、この講座を受講してみませんか? ライティングアドバイザーが基礎から丁寧に解説します。

第1回：レポート論文基礎のキソ

5月17日(金) 17:20～18:20

第2回：構成と執筆のコツ

5月20日(月) 17:20～18:20

第3回：仕上げのポイント

5月22日(水) 15:30～16:30

★会場：図書館3階 図書館情報セミナールーム

(A-308)

★講師：丸善雄松堂株式会社ライティングアドバイザー

各回資料を配布します。

お好きな回のみでの参加も可能です。

データベースガイダンス

就職活動を始める方に！レポートの資料集めに！

データベースは、PCで検索するだけで、収録されているデータ(論文や新聞記事など)を読み、印刷や保存までできる便利ツールです。レポートを書く際の資料集めはもちろん、就活対策にも使えます。効果的な使い方を、専門の講師がわかりやすく説明します！



★日経テレコンではじめる業界・企業研究

社会人と同じ目線に立つために『日本経済新聞』は就活生に必須といわれます。日経テレコンでは、日経各紙の新聞記事のほか、企業情報や人事情報まで検索できます。レポートの資料集めや、業界・企業研究、時事問題対策や面接対策など幅広く活用できます。

★日時：6月12日(水) 12:45～13:25

★会場：E-102(東棟1階) *講義形式、昼食持込可

イーオーエル

★上場企業を探すなら、eol(有価証券報告書)

株式会社が金融庁へ提出している『有価証券報告書』の検索ができるのがeol。企業のHP等では入手できない、企業のマイナス面(対処すべき課題など)もわかるのがポイント。難しいと思われがちな『有価証券報告書』ですが、目次が統一されているので、企業比較がしやすいです。見るべき目次についても説明します。

★日時：6月20日(木) 12:45～13:25

★会場：E-102(東棟1階) *講義形式、昼食持込可

★会社四季報を読む！

東洋経済デジタルコンテンツライブラリー

就活生必須の『四季報』は、冊子を所蔵していますが、データベースでも検索できます。キーワード検索で、隠れた優良企業を探すこともできます。おすすめのキーワードや、見るべきポイントなどを交え、わかりやすく説明します。

★日時：6月21日(金) 12:45～13:25

★会場：E-102(東棟1階) *講義形式、昼食持込可

すべて事前予約不要で、学年問わずご参加いただけます。当日、直接会場へお越しください。

ガイダンスのお問い合わせは、図書館1階総合レファレンスカウンター(平日9:00-17:00)まで。

所蔵資料の展示コーナー

その時々、の季節や話題に合った資料を選んで紹介する展示は、書籍・雑誌を集めた1階特集コーナーと、視聴覚資料を集めた3階AV資料特集コーナーで開催中です。

春の特集「今こそ読みたい、知の扉を開く新書」

4月8日(月)～6月29日(土) ～1階 特集コーナーの書架にて～

図書館では、新書御三家の岩波新書、中公新書、講談社現代新書の他、ちくま新書、平凡社新書、集英社新書など、多数の新書を所蔵しています。新書は、時事的な内容のものが多く、現代社会を理解するのに最適です。また、学術書の入門編としても活用でき、教養を深めるのに最適な新書も少なくありません。今こそ読んでおきたい新書を厳選して特集します。

正しいコピーのすすめ：模倣、創造、著作権と私たち / 宮武久佳著

岩波書店, 2017年
(岩波ジュニア新書) 021.2-Mi85t

図書や雑誌、新聞記事、ネットなどの情報を調べて、レポートや論文を作成する場合、「許されるコピー」と「許されないコピー」がある。「正しいコピー」(引用など)をする上で、絶対に必要なのが著作権の知識だ。身近な話題を題材に、面白く楽しく著作権のルールを理解することが出来る。

国際法 / 大沼保昭著

筑摩書房, 2018年(ちくま新書)
081-C44-1372

2018年10月に逝去した国際法の第一人者による必読の入門書。本書の眼目は、「国際社会に通用しない議論は独善であり、国を誤らせる」との認識のもと、一般市民が政治・外交を国際法の観点から考え、理解できるようになることにある。自衛権、日米経済関係、中国との歴史認識問題、「固有の領土」論、「慰安婦」問題などを国際法で考えてみよう。

君たちはどう生きるかの哲学 / 上原隆著

幻冬舎, 2018年

(幻冬舎新書) 159.5-Y92kYu

著者の上原氏は、吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』を、哲学者の鶴見俊輔が1959年に「日本人の書いた哲学書として最も独創的なものの一つであろう」と書いていたのを機に読む。そして、鶴見哲学の主要な問題のほとんどが『君たちはどう生きるか』の中にあることを知る。本書は、鶴見哲学を通して『君たちはどう生きるか』を読み進める案内書だ。

虚偽自白を読み解く / 浜田寿美男著

岩波書店, 2018年(岩波新書)

S-327.626-H22k

取調室のなかで被疑者から引き出される虚偽の自白。何故、無実の人がみずからを犯人だと偽り、やってもいない犯行を語るのか。法心理学の専門家が足利事件、狭山事件、袴田事件(清水事件)、日野町事件、名張事件を実例にして、虚偽自白の発生過程を検証し、無実を勝ち取る道筋と、冤罪の悲劇を防ぐ方策を考える。

ルポ タックスヘイブン：秘密文書が暴く、税逃れのリアル / 朝日新聞 ICIJ 取材班著

朝日新聞出版, 2018年

(朝日新書) 345.1-A82r

「租税回避地」と訳されるタックスヘイブンでは、所得税や法人税が極端に優遇される。国際調査報道ジャーナリスト連合(ICIJ)を介して世界のメディアに共有された「パラダイス文書」には、富裕層の電子メールや大企業の契約書まで、表に出ることない資料が大量に含まれていた。朝日新聞 ICIJ 取材班による渾身のルポ。

給食の歴史 / 藤原辰史著

岩波書店, 2018年(岩波新書)

S-374.94-F56k

130年に及ぶ日本の学校給食の歴史を、①子どもの貧困対策、②災害大国の給食、③教師・学校栄養職員・調理員・保護者たちの運動史、④教育史、⑤世界史のなかにおける日本の給食史、という5つの視角から論じる。政治史、経済史、農業史、災害史、科学史、社会史、教育史、運動史を横断する内容で、給食を主軸にした類書を見ない日本近現代史となった。

第1期「初めてのクラシック&洋楽」

4月15日(月)～7月上旬 ～3F AV コーナー入口にて～

2019年度の第1期展示は、これまで紹介してきたアニバーサリー作曲家&アーティスト特集に代えて、より多くの方々にクラシック音楽や洋楽に親しんでもらえるような曲やアーティストを紹介します。

クラシックでは、ユニークな演奏活動や発言が注目を集める高嶋ちさ子や、既に伝説化し、先ごろ来日して熱狂を呼んだクルレンツィス指揮ムジカエテルナ、紀平梨花や羽生結弦など、日本人アスリーの活躍が目覚ましいフィギュアスケートで使われた印象的な曲などを紹介。

洋楽では、ビートルズやマイケル・ジャクソンなど、熱狂的なファンを獲得し、洋楽界のみならず社会に大きな影響を与えているおなじみのアーティストを紹介します。どうぞお楽しみに。



BiVS 図書館学生サポーター

2015年4月に発足した図書館学生サポーターBiVS（ピボス）は、学生の視点に基づいた魅力ある図書館利用者サービスを行う目的で、多様な活動を行っています。これまでの活動を振り返り、新規メンバー募集についてお知らせします。

BiVSの活動とは？

・BiVS（ピボス）って何？

Bibliothek, Volunteer, Supportersの頭文字から名付けた愛称です。Bibliothek（ビブリオテーク）はドイツ語で図書館を意味します。つまり、「図書館でボランティア活動を行って、図書館を応援する」意味が込められています。

・メンバーの構成は？

2018年度は10名が参加し、1年生2名、2年生2名、3年生4名、4年生2名でした。すべての学部が参加しているので、本や図書館が好きな他学部他学科の学生と学年を越えて交流できるのも魅力の一つです。

・どんな活動をしているの？

図書館と連携し、自主性を重んじて和やかな活動を目指しています。毎週水曜日の昼休みに昼食を食べながら、図書館の会議室で企画を練るための定例会を行なっています。活動の基本は資料展示です。BiVSならではの楽しいテーマを設定して、学生に読んでほしい本を選び、POPを作成して展示します。BiVSには3つの係があり、新聞係、美術係、学術係で役割を分担しています。新聞係は、しんぶん『BiVSの本だな』を編集し、展示資料の紹介、コラム、教員インタビュー記事などを掲載します。美術係は、美術館や博物館の展覧会と連動した展示を企画します。学術係は、特に学術的なテーマの展示を担当します。

興味のある方は、気軽に説明会にご参加ください。お待ちしております！



2018年10月の展示「BiVSの美味しいレストラン」

4月【新メンバー募集説明会】

【説明会】 昼食の持ち込み可

日時：お昼休み 12:50～13:30

4/10(水) 16(火) 17(水) 18(木) 24(水)

場所：図書館1階 図書館会議室（事務室内）

1階メインカウンターで案内します。

【申込方法】 説明会または、図書館1階メインカウンターで配付している応募用紙に記入して、カウンターに提出。

BiVS 2018年度の活動記録

【展示】

- ・「わたしの好きな本 2017」（5～6月）
2017年に読んだ本の中から、特に印象に残った本を展示。
- ・「誰よりもまず、自分が最初に読みたかった本」（6月～7月）
図書館の棚を隅々まで見て歩いて発見した面白い本を展示。
- ・「図書館で考える地球のこと」（6月～7月）
“Earth Week Dokkyo2018”に参加、環境問題の関連図書を展示。
- ・「美術館に行こう【ルーヴル美術館展】」（7月～9月）
国立新美術館の展覧会「ルーヴル美術館展 肖像芸術」を鑑賞してレポートを作成し、関連図書を展示。
- ・「美術館に行こう【ミケランジェロと理想の身体】」（8月～9月）
国立西洋美術館の展覧会「ミケランジェロと理想の身体」を鑑賞してレポートを作成し、関連図書を展示。
- ・「BiVSの美味しいレストラン」（10～11月）
食欲の秋にふさわしい「食べること」をテーマにした展示。
- ・「美術館に行こう【ムンク展】」（11月～1月）
東京都美術館の展覧会「ムンク展—共鳴する魂の叫び」を鑑賞してレポートを作成し、関連図書を展示。
- ・「BiVSからのプレゼント」（12～1月）
あなたに贈りたいと思う、「とても大切な本」を展示。

【イベント】

- ・矢羽々ゼミとの公開ビブリオバトル（12月）
図書館長を務めている矢羽々崇先生（ドイツ語学科）のゼミとビブリオバトル（知的書評合戦）で交流。
- ・成城大学主催「Supporters' Forum 2018」（12月）
学生サポーター団体の交流を目的とした成城大学主催のイベント「Supporters' Forum 2018」に3名が参加。
跡見女子、桜美林、駒沢、実践女子、成城、帝京、明治学院、立正の学生サポーターと交流を図る。

【しんぶん BiVSの本だな】

- ・教員インタビュー企画：
「本とともに生きた人生など、先生に訊いてみた」
「船越健志先生（英語）」「森永卓郎先生（経済）」
「古川堅治先生（国際教養）」「福永文夫先生（総合政策）」
（以上6月）「矢羽々崇先生（ドイツ語）」（11月）
「工藤達也先生（ドイツ語）」（1月）
研究者として本とともに生きる先生方の人生に興味を持ち、6名の教員ロング・インタビューを企画。学生時代に影響を受けた本を取材し、6月から1月まで6回に分けて、しんぶん『BiVSの本だな』に掲載し、図書館HPで公開。